



<報道関係各位>

2012年9月29日
「夢・化学-21」委員会
公益社団法人日本化学会

「第45回国際化学オリンピック ロシア大会」代表候補決定！

「夢・化学-21」委員会^{※1}と日本化学会は、この度、世界の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』における日本代表の座を目指す代表候補生徒23名を決定いたしました。

代表候補生徒は、今年7月から8月にかけて行われた『化学グランプリ2012』の参加者3,202名のうち、高校1・2年生、中学3年生を対象に選出された10名、日本化学会支部から推薦された13名の以下23名です。今後実施される強化訓練・選抜試験を経て、最終的に4名が日本代表生徒として選ばれ、来年7月にロシアで開催される『第45回国際化学オリンピック ロシア大会』に出場します。

※1 公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

オリンピック代表候補生徒（23名）

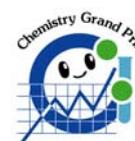
氏名	フリガナ	高校県名	学校名	学年	性別
江村 大樹	エムラ ヒロキ	広島県	広島学院高等学校	2	男性
岡本 浩一	オカモト コウイチ	大阪府	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	2	男性
金丸 大祐	カネマル ダイスケ	山梨県	駿台甲府高等学校	2	男性
木下 晟秀	キノシタ アキヒデ	愛知県	滝高等学校	2	男性
久保田 祐貴	クボタ ユウキ	東京都	麻布高等学校	2	男性
真田 兼行	サナダ カズユキ	大阪府	灘高等学校	1	男性
重田 太郎	シゲタ タロウ	神奈川県	浅野高等学校	2	男性
新宅 和憲	シンタク カズノリ	広島県	広島学院高等学校	2	男性
高橋 優輔	タカハシ ユウスケ	東京都	立教池袋高等学校	2	男性
田邊 秀一郎	タナベ シュウイチロウ	奈良県	東大寺学園高等学校	1	男性
谷口 大輔	タニグチ ダイスケ	神奈川県	栄光学園高等学校	2	男性
渡嘉敷 直之	トカシキ ナオユキ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	2	男性
羽根淵 高弘	ハネブチ タカヒロ	愛知県	愛知県立岡崎高等学校	2	男性
濱崎 遼	ハマサキ リョウ	福岡県	福岡県立明善高等学校	2	男性
原田 スバル	ハラダ スバル	宮城県	宮城県立仙台第一高等学校	2	男性
福 健太郎	フク ケンタロウ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	2	男性
福永 隼也	フクナガ トシヤ	兵庫県	白陵高等学校	1	男性
正田 浩一郎	マサダ コウイチロウ	兵庫県	白陵高等学校	1	男性
安井 雄太	ヤスイ ユウタ	埼玉県	埼玉県立松山高等学校	2	男性
山西 智紀	ヤマニシ トモキ	東京都	駒場東邦高等学校	2	男性
山根 知之	ヤマネ トモユキ	東京都	桐朋高等学校	2	男性
吉田 生	ヨシダ イキル	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	5 ^{※2}	男性
渡辺 孝佳	ワタナベ タカヨシ	宮城県	東北学院高等学校	2	男性

※2 高校2年生に相当

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年行われたアメリカ大会(ワシントンD.C.)には、72カ国・地域から283名の高校生が参加しました。大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験問題と筆記問題が出題され個人戦として競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から9年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。



◆化学グランプリとは

全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、「夢・化学-21」委員会と日本化学会が1998年に東京と仙台の2カ所で試験的に実施した『高校化学グランプリ』がはじまりです。翌1999年からは、『全国高校化学グランプリ』として会場も全国に広がり、化学の競技会として毎年開催されるようになりました。そして、2012年の大会より、『化学グランプリ』と名称を変更しました。受験資格は従来と同じく高校生以下であればどなたでも受験でき、2012年のグランプリには3,202名の中高生が参加しました。なお、『国際化学オリンピック』に出場する日本代表生徒は、『化学グランプリ』の成績優秀者を中心に選出されています。

◆「夢・化学-21」委員会について



「夢・化学-21」委員会は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリの他、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知って貰うため「子ども化学実験ショー」や、「わくわく理科・実験教室」などを行っています。

お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会 : 大倉、瀬田 TEL 03-3292-6164 FAX 03-3292-6318
一般社団法人日本化学工業協会 : 高橋、高水 TEL 03-3297-2555 FAX 03-3297-2615
「化学グランプリ」URL: <http://gp.csj.jp> 「夢・化学-21」URL: <http://www.kagaku21.net>